

平成27年度

第1回大分県教育委員会 会議録

日 時 平成27年4月7日(火)

開会13時40分 閉会15時19分

場 所 教育委員室

平成 27 年度  
第 1 回大分県教育委員会

**【議 事】**

- (1) 議 案
  - 第 1 号議案 平成 27 年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命  
について
  
- (2) 報 告
  - ①大分県教育委員会災害時専用メールアドレスについて
  - ②平成 27 年度大学入試結果について
  
- (3) 協 議
  - ①平成 28 年度（平成 27 年度実施）教員採用試験実施要項（案）  
について
  - ②平成 28 年度（平成 27 年度実施）民間人校長採用選考（案）  
について
  - ③大分県社会教育委員の委嘱について
  
- (4) その他

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	委員長	松 田 順 子
	委員長職務代理者	首 藤 照 美
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	高 橋 幹 雄
	教育長	野 中 信 孝

欠席委員なし

事務局	理事兼教育次長	河 野 盛 次
	教育次長	落 合 弘
	教育次長	大 城 久 武
	参事監兼高校教育課長	岩 武 茂 代
	教育改革・企画課長	能 見 駿一郎
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	教育財務課長	岡 田 雄
	福利課福利厚生監	木 村 哲 雄
	義務教育課長	後 藤 榮 一
	生徒指導推進室長	江 藤 義
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	野 尻 明 敬
	体育保健課長	蓑 田 智 通
	教育改革・企画課主幹	勝 尾 裕 美
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

### 2 傍聴人

4 名

## 開会・点呼

(松田委員長)

それでは、委員の出席確認をいたします。  
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成27年度 第1回教育委員会会議を開きます。

## 署名委員指名

(松田委員長)

本日の会議録の署名委員でございますが、高橋委員にお願いしたいと思っております。

## 会期の決定

(松田委員長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりであります。  
会議の終了は14時55分を予定しております。  
よろしく申し上げます。

## 議 事

(松田委員長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案及び協議①から③については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは、第1号議案及び協議①から③については、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

議事に入ります前に、平成27年度の第1回目の教育委員会ということで、教育長の方から新年度にあたって、何かありましたら、お願いいたします。

(野中教育長)

平成27年度の始まりということで、一言ご挨拶申し上げます。4月1日に教育庁職員に対して訓示をいたしました。教育委員会会議で議論していただきました今年度の重点方針に触れながら、3点について、職員に話をいたしました。

1点目は、子どもの力と意欲の向上に向けた組織的な取組、これは「芯の通った学校組織」の第4フェーズの取組をしっかりとやるということですが、この3年間の「芯の通った学校組織」の取組を振り返って、大きな教訓となったのは、この施策に込められた思いをしっかりと現場に届けるということです。3年間の取組の中で、教育事務所をはじめ教育委員会の組織を挙げて学校現場に思いを届け、かつ、現場の思いを拾ってきました。これからも、また、他の施策を行うにあたって、私たちの、教育委員会の思いを現場にしっかりと届けましょう、現場の思いを拾っていきましょうという話をしました。

2点目はグローバル人材育成との関係で、遠くを見つめることが必要だということです。今年は県の長期計画や教育大綱の策定が行われる予定ですので、遠くを見つめることが必要だということ、併せて、広い視野を持つこと、教育が教育だけで完結せずに、昨今いろいろと議論されている人口減少社会の問題や地域創生あるいは貧困の問題その他いろんな関連する分野が広いということで、遠くを見つめて視野を広くという話をしました。

3点目は職員の健康管理について話をしました。

以上3点、職員に話をしましたが、主には、事務の執行にあたってしっかりと思いを届け思いを拾うということ、遠くを見つめて視野を広くということ、私の話はちょっと抽象的ですがけれども、日々の仕事の中で、しっかりと課題を捕まえていきながら、そういう姿勢でやっていきたいという話をしました。

教育委員の皆さん方には、引き続き大所高所、また専門的な見地から、ご意見をいただきながら、しっかりと議論をしていただいた上で、いろいろな決定をしていただきたいと思います。今年度も1年間よろしくお願いいたします。

## 【報 告】

### ①大分県教育委員会災害時専用メールアドレスについて

(松田委員長)

それでは、報告第1号「大分県教育委員会災害時専用メールアドレスについて」報告をしてください。

(能見教育改革・企画課長)

報告第1号「大分県教育委員会災害時専用メールアドレスについて」報告いたします。

まず、前提といたしまして、災害が発生した場合の本県の対応について、説明いたします。資料の1ページをご覧ください。

例えば、県内で震度5強以上の地震などの自然災害が発生した場合、災害に迅速に対応するため、大分県災害対策本部が設置されることとなります。大分県災害対策本部は知事を本部長として、県庁の各部局が対策部を編成し、情報収集ほか、必要な支援を行うこととなります。資料の右中程にありますように、児童・生徒対策部につきましては、教育委員会が、その中心的役割を担っています。

児童・生徒対策部の編成と分掌事務につきましては、次のページをご覧ください。児童・生徒対策部は教育長をトップとして、教育委員会の職員が中心となり、分掌事務にあります「県立学校における応急措置の実施」や「市町村教育委員会が実施する学校の応急措置に対する援助・協力」などの対応を行っています。特に、分掌事務の3番目にあります「教育施設、児童・生徒・学生及び学校職員の被災状況、避難所としての学校の使用状況等の把握」ですが、大災害が発生した場合の的確な初動対応のために最も重要であり、迅速に災害状況の把握に努める必要があります。

4年前に発生した東日本大震災では、地震や津波の影響により、通信設備に甚大な被害が生じ、電話が不通となったり、学校等から県の対策本部へ連絡が付かない、といった状況が生じ、必要な支援が行えなかったということが言われています。今回の災害時専用メールアドレスは、そのような東日本大震災級の大規模災害時における緊急事態を想定し

て、作成するものです。

3 ページをご覧ください。右上に図示してありますように、電話やパソコンが使えない場合でも、中程にありますアドレスに個人の携帯電話から、右下のメール送信例のような件名、学校名、避難場所、怪我人の数や程度、必要な支援といった被災状況について、送信していただければ、その情報に基づいて、県としての確な初動対応を行うことが可能となります。こういった趣旨で、今回このアドレスを作成するものです。

今後、このメールアドレスにつきまして、教職員の携帯電話への登録をお願いするとともに、訓練も実施し、大災害に備えていきたいと考えています。

以上でございます。

(松田委員長)

何か質問・ご意見等はありませんか。

(岩崎委員)

資料には、「このメールアドレスは大災害時及び訓練時にのみ使用」と書かれていますが、大災害への対応は普段からの訓練が重要だと思います。

現在、どの程度の訓練を、どのくらいの頻度で行っているのか教えてください。

(能見教育改革・企画課長)

県におきましては、毎年秋頃、総合防災訓練を実施しています。

また、各学校におきましても、年に1回避難訓練を実施することとされています。このメールアドレスにつきましても、しっかり機能するものか、訓練が必要と考えていますので、既存の総合防災訓練や学校現場における避難訓練と、どう関連づけるかも含めて検討していきたいと思っています。

(松田委員長)

学校において、このメールアドレスを使う訓練を計画して取り組んでいただきたいと思います。

(高橋委員)

東日本大震災では、電話もメールも使えなくなってしまったということを知りましたが、このメールアドレスは災害時に機能するのでしょうか。

(能見教育改革・企画課長)

場合によっては、携帯電話会社の状況により、一時的に送信に制限がかかることは考えられますが、このOENというシステムはグーグルのシステムを使っておりまして、その容量としましては、全く受信には問題ないと聞いております。

(高橋委員)

学校だけではなく、子どもたちにも周知を図るのでしょうか。

(能見教育改革・企画課長)

まずは、県立学校、県の教育機関の教職員からと考えています。

(松田委員長)

まずは、学校からということですね。

(岩崎委員)

先ほどの訓練の関連ですが、災害時には、このメールアドレスがかなりの頻度で使われる可能性があると思います。資料にメール送信例が載っていますが、いくつかの学校から同時に発信するような訓練を行う必要があるのではないかと思います。

(能見教育改革・企画課長)

岩崎委員のご指摘のとおり、情報が寄せられても、それを役立てられなければ意味がありませんので、まずは、登録にご協力いただいた教職員からになります。例えば一定の時間、一定のシナリオを設定して、実際にメールを送信していただく訓練を想定しています。また、送信いただいたメールを、例えば、学校名により自動的にフォルダに分類される仕組みを作った上で、それぞれ事務局で担当を決めて、情報を分析するというような訓練が必要ではないかと考えています。

(高橋委員)

防災無線が各市町村にあります。県立学校には防災無線はあるのでしょうか。

(能見教育改革・企画課長)

県立学校にはございません。

(高橋委員)

災害時には情報が錯綜し、混乱すると思いますので、そこは注意していただきたいと思います。先日、テレビで南海トラフの関係の学校での訓練を見ましたが、28メートル強の津波を想定して訓練をしていまし



た。そのこのところも迅速な対応をしていただきたいと思います。

(松田委員長)

臼杵高校が災害の研究指定校となって、地域の方々と訓練していると聞いていますが、どのような訓練を行っているのでしょうか。

(落合教育次長)

昨年度、研究指定を受け、地域と連携・協力し訓練を行いました。高校生だけが避難するのではなく、地域の方や動けない方と一緒に避難した場合どうなるのか、などの研究をしました。非常に効果があったと聞いています。

(岩崎委員)

各学校で行われている訓練は、学校ごとにそれぞれで行っていると思いますが、一斉にメールを送信する訓練はしなくてよいのでしょうか。

(野中教育長)

県庁全体での訓練では、特定の大きな事象を想定して、シナリオがなく、突然いろんな情報が入るような訓練を行っています。訓練をしていて感じたのは、実際の災害時に果たしてこんなに情報が入るのかということでした。幸いOENのシステムがありますので、これを使えば、電話が不通となっても、通常のメールが使えなくなっても、これは使えるだろうということで、このメールアドレスを作りました。このOENは教育委員会独自のシステムですので、教育委員会・県立高校・特別支援学校・地方機関の安否情報などを受ける訓練については、県庁全体の訓練とは別の日を設定するなど工夫して訓練を行う必要があると考えています。

(林委員)

このOENというシステムは、どのようなシステムでしょうか。電話やパソコンが使えない場合を想定しているわけですから、県庁の電源が喪失した場合などでも稼働するのでしょうか。

(落合教育次長)

クラウド型のメールとなっており、グーグルのコンピュータがデータを管理していますので、県庁の電源が喪失しても、例えば、県北の関係機関のコンピュータからアクセスしてメールを見ることが出来ます。

(林委員)

クラウド型なので、電気が通じている事務所からアクセスできるとい

うことですね。

(松田委員長)

まずはスタートしましょう。

## ②平成27年度大学入試結果について

(松田委員長)

それでは、報告第2号「平成27年度大学入試結果について」報告をしてください。

(岩武参事監兼高校教育課長)

「平成27年度大学入試結果について」説明いたします。資料1ページ「1 合格状況概要」をご覧ください。

平成27年度卒業者数は7,955名で、昨年度7,954名より1名増えています。その下の現役実数と延べ数ですが、延べ数は複数校合格者を含んだ数です。国立大学の現役実数は1,250名で昨年より48名増加しています。公立大学は431名で30名増加し、国公立の合計は1,681名となり、昨年よりも78名増加しています。私立大学は3,504名と、昨年度よりも大幅に増加しています。また、私立短大も563名と大きく増えていますが、専修学校等は若干減少し1,927名となりました。

右の「3 国公立大学現役合格率」の表とグラフをご覧ください。国公立大学合格者の1,681名というのは、卒業者に対する割合でいうと21.1%の合格率となります。これは昨年度より0.9ポイントのプラスとなり、過去5年間で見ても、平成23年度に次ぐ結果となりました。

「2 難関大学（難関学部を含む）合格者数」をご覧ください。これは過年度生を含んだ数字です。一番下の「合計」をご覧ください。平成23年度以降、減少傾向にありましたが、平成27年度は284名と過去5年間で最高の結果となりました。大学別に見ていきますと、東京大学が9名で昨年より7名減っていますが、九州大学については143名と大幅に増加しています。また、大分大学医学部医学科につきましては、32名と過去5年間で最高の結果となりました。その他の医学科も増加しています。医学科の難易度は東京大学と同等のレベルであり、医学科志向が強い傾向にあります。

次に資料2ページをご覧ください。こちらは、本年度の私立大学の状況につきまして、有名大学といわれているところや地元の大学を中心にまとめたものです。県内の別府大学や日本文理大学は増加していますが、

A P U（立命館アジア太平洋大学）は減少しています。福岡の西南学院大学や福岡大学は増加しています。関東の大学は減少しておりますが、関西の大学は関西学院大学や同志社大学で増加しています。

以上でございます。

（松田委員長）

何か質問・ご意見等はありませんか。

（松田委員長）

大変素晴らしい結果だと思います。現場の先生方のご指導のおかげだと思います。

（松田委員長）

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かございませんか。

ないようですので、先に非公開と決定しました案件の議事を行います。関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

（関係課以外及び傍聴人退出）

## 【議 案】

### 第1号議案 平成27年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について

（松田委員長）

それでは、第1号議案「平成27年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について」提案を求めます。

（説 明）

（松田委員長）

ただ今、提案のありました議案について、審議を行います。質疑・意見等のある方はお願いします。

（質疑・意見等）

(松田委員長)

では、ただ今、提案のありました第1号議案の承認について、お諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(松田委員長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

## **【協 議】**

### **①平成28年度（平成27年度実施）教員採用試験実施要項（案）について**

(松田委員長)

それでは、協議の①「平成28年度（平成27年度実施）教員採用試験実施要項（案）について」協議を行います。

(説 明)

(松田委員長)

何かご質問・ご意見等はございませんか。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえて、今後の事務を進めてください。

### **②平成28年度（平成27年度実施）民間人校長採用選考（案）について**

(松田委員長)

それでは、協議の②「平成28年度（平成27年度実施）民間人校長採用選考（案）について」協議を行います。

(説 明)

(松田委員長)

何かご質問・ご意見等はございませんか。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

今回の協議の内容を踏まえたうえで、今後の事務を進めてください。

### ③大分県社会教育委員の委嘱について

(松田委員長)

それでは、協議の③「大分県社会教育委員の委嘱について」協議を行います。

(説 明)

(松田委員長)

何かご質問・ご意見等はございませんか。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

では、今回の協議の結果を踏まえて、事務を進めていただきたいと思います。

(松田委員長)

最後にこの際、何かありましたら、お願いします。  
ないようですので、これで平成27年度第1回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

# 平成27年度第1回大分県教育委員会会議次第

日時 平成27年4月7日（火）

13：40～14：55

場所 教育委員室

## 1 開 会

## 2 署名委員の指名

## 3 議 題

### （1）議 案

第1号議案 平成27年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について

### （2）報 告

①大分県教育委員会災害時専用メールアドレスについて

②平成27年度大学入試結果について

### （3）協 議

①平成28年度（平成27年度実施）教員採用試験実施要項（案）について

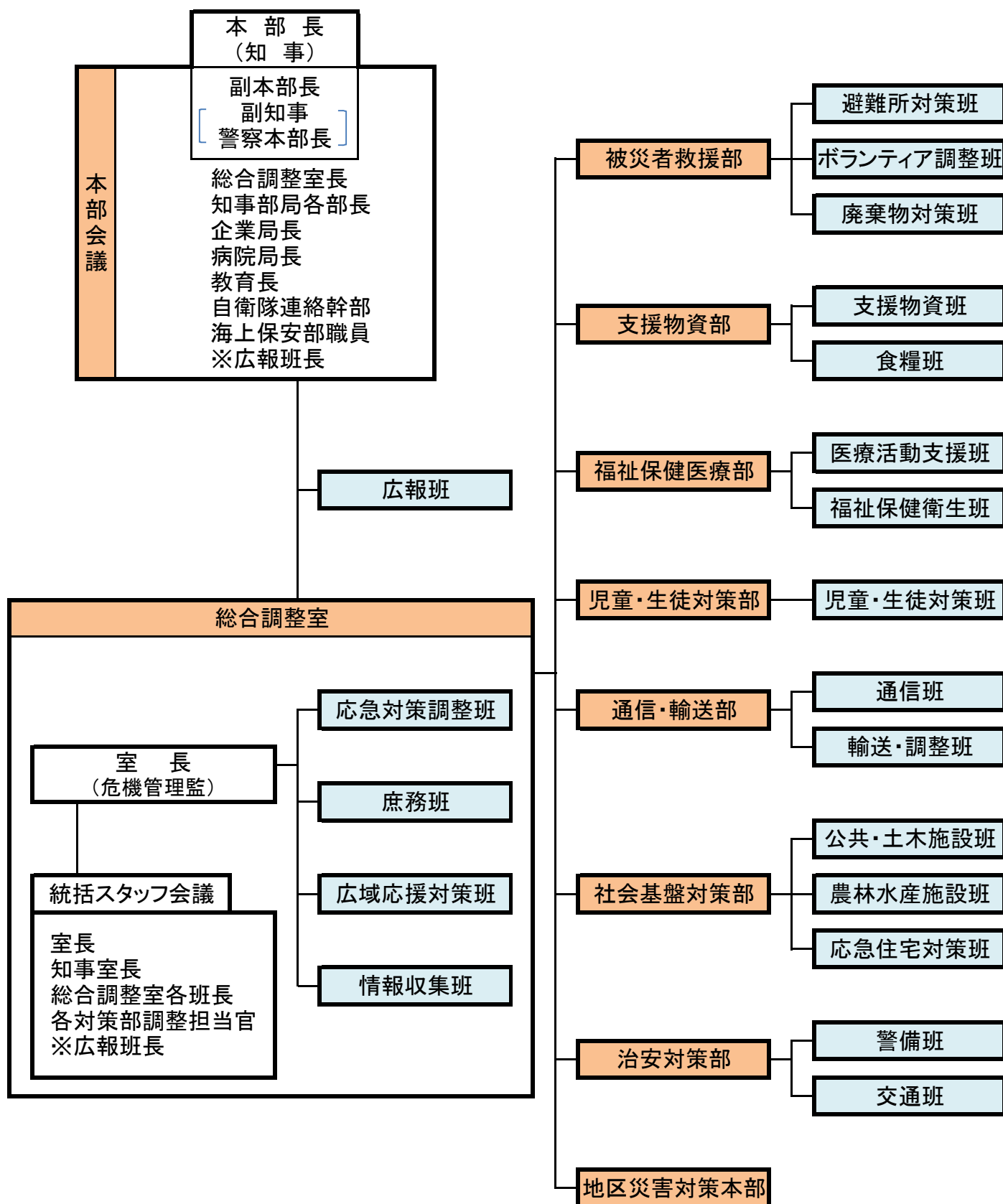
②平成28年度（平成27年度実施）民間人校長採用選考（案）について

③大分県社会教育委員の委嘱について

### （4）その他

## 4 閉 会

# 大分県災害対策本部組織図



## ○児童・生徒対策部の編成・分掌事務

部 長	教育長
副 部 長	教育次長(総務・改革担当)
調整担当官	教育庁総務企画監

## 【児童・生徒対策班】(34名)

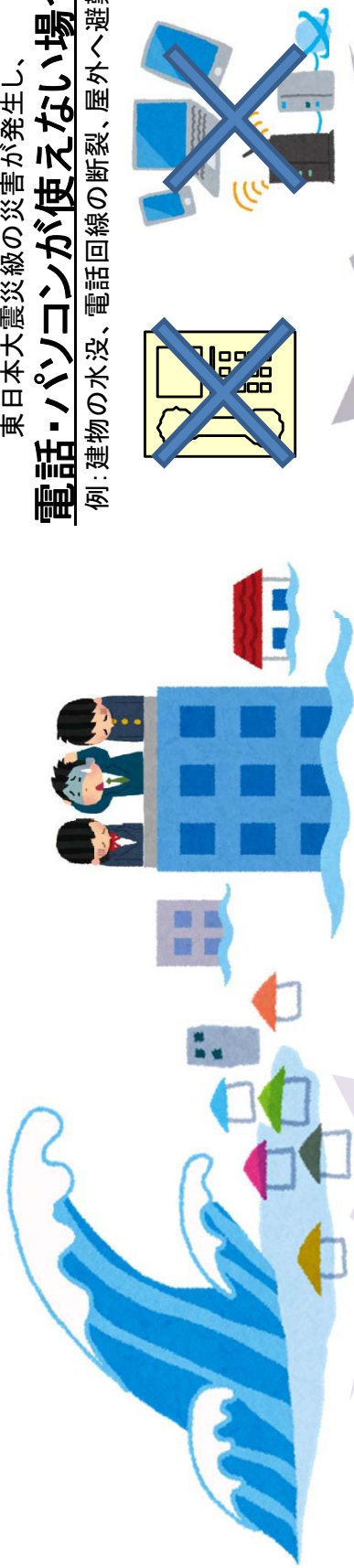
班 長	教育改革・企画課長
副 班 長	私学振興・青少年課長
班 員	教育財務課4、教育改革・企画課1、義務教育課2、 特別支援教育課1、高校教育課3、体育保健課5、福利課1、 社会教育課3、人権・同和教育課1、文化課2、 私学振興・青少年課2、税務課3、調整審査課1、 監査事務局第一課2、監査事務局第二課1

班 名	分 掌 事 務
児 童 ・ 生 徒 対 策 班	・県立学校における応急措置の実施
	・市町村教育委員会が実施する学校の応急措置に対する援助・協力
	・教育施設、児童・生徒・学生及び学校職員の被災状況、避難所としての学校の使用状況等の把握
	・応急授業の実施状況の把握及び支援
	・教材学用品の供給措置
	・各学校が行う保健衛生措置に係る福祉保健衛生班及び地区災対保健所班への応援要請
	・教育施設が避難所となった場合の授業再開に関して市町村、県教育委員会、避難所対策班等との間で協議
	・各種情報の情報収集班への伝達



# 大災害時における生徒・教職員への支援のために！！ 大分県教育委員会「災害時専用メールアドレス」

東日本大震災級の災害が発生し、  
**電話・パソコンが使えない場合**  
例：建物の水没、電話回線の断裂、屋外へ避難



自分たちの居場所を知らせたい！

救援物資を送って欲しい！



↓↓皆さんがお持ちの携帯電話(メール機能)を使って、ここへメールしてください。↓

## bousai-ed-oita@oen.ed.jp

○県教育委員会への直通メールです。

○電話が繋がらない場合にも連絡が可能です。

○学校名、送信者名、避難場所、怪我人の数・程度、必要な支援などを送信してください。

○状況に応じて、できる限りの対応を行ってまいります。

○このメールアドレスは大災害時及び訓練時にもみ使用します。



メール送信例

件名：避難状況

内容

○○高校の○○です。  
○年○組の生徒○人と一緒に○○ビルの屋上に避難しています。怪我人等はいませんが、水・食糧が全くありません。

# H27年3月 大分県公立高等学校の進路状況推移 (過去5年間)

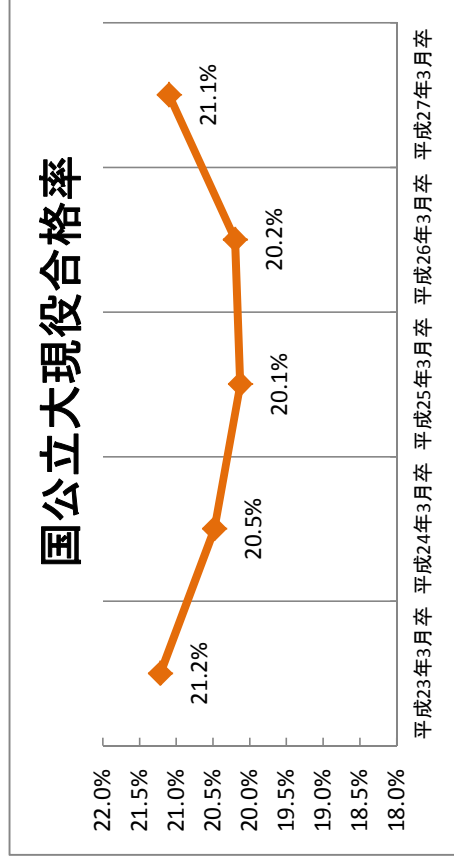
## 1 合格状況概要

	平成23年3月卒	平成24年3月卒	平成25年3月卒	平成26年3月卒	平成27年3月卒
卒業者数	8,515	8,339	8,668	7,954	7,955
国立大					
現役実数	1,354	1,258	1,277	1,202	1,250
現役延数	1,358	1,261	1,279	1,206	1,252
公立大					
現役実数	453	450	468	401	431
現役延数	468	462	474	409	439
私立大					
現役延数	3,709	3,464	3,359	3,206	3,504
国公立短大					
現役延数	318	282	296	333	317
私立短大					
現役延数	549	483	525	499	563
大学校等					
現役延数	122	73	82	92	83
専修学校等					
現役延数	1,916	2,144	2,196	2,008	1,927

※専修学校等には、大学進学のための予備校への入学者を含む。

## 3 国立大学現役合格率 (卒業生に対する現役合格人数の割合)

	平成23年3月卒	平成24年3月卒	平成25年3月卒	平成26年3月卒	平成27年3月卒
現役合格率	21.2%	20.5%	20.1%	20.2%	21.1%
現役合格人数	1,807	1,708	1,745	1,603	1,681



## 2 難関大学(難関学部を含む)合格者数

※過年度を含む

	平成23年3月卒	平成24年3月卒	平成25年3月卒	平成26年3月卒	平成27年3月卒
東京大	19	14	10	16	9
一橋大	4	2	3	4	1
京都大	9	7	11	4	8
大阪大	35	31	34	20	33
神戸大	17	23	15	13	5
九州大	109	102	97	98	143
その他の難関大学(※)	42	24	29	25	26
大分大(医学科)	27	28	22	27	32
その他の医学科等	12	22	25	19	27
合計	274	253	246	226	284

(※)その他の難関大学:北海道大学、東北大学、筑波大学、東京外国語大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、名古屋大学

## 4 大分県の進路状況について

- ・ 国立大学現役合格率は 昨年度より0.9ポイント上昇
- ・ 難関大学合格者の人数は、昨年度より58人増加。\* 卒業者はほぼ同数
- ・ 大分大学医学部医学科は募集人数100人のうち、大分県内の合格者は32名(現浪)で、過去5年間で最多。

5 主要私立大学別 合格者数推移(公立高校一過年度含む)

主要 私立大学	関 東										関 西				福 岡		大分県内					
	東京6大学						MARCH				関関同立				福		大分県内					
	慶応大	早稲田大	法政大	明治大	立教大	青山学院大	中央大	上智大	津田塾大	東京理科大	国際基督教大	関西大	関西学院大	同志社大	立命館大	西南学院大	福岡大	立命館大 平洋大	(推 薦)	( A O )	( 一 般 )	別 府 大
<b>H27</b>	14	39	28	51	14	18	32	8	4	24		19	46	78	105	191	462	25	11	36	269	163
過 去	16	48	26	56	16	18	31	8	9	26	2	26	40	67	129	170	442	29	10	50	234	141
	14	32	37	41	9	20	43	3	9	28	4	25	50	67	115	156	464	34	19	60	229	168
	27	34	24	33	13	13	36	8	8	30	1	26	44	59	105	115	426	32	21	102	218	176
	25	51	35	56	20	30	47	3	18	29	3	36	55	74	127	106	500	32	14	153	245	187